

1 試験研究成果

区分	農産部門	園芸畑作部門	畜産部門	総合部門	計
普及	4	19	5	1	29
指導	9	27	7	1	44
行政	10	4	2	3	19
研究	3	18	4	3	28
計	26	68	18	8	120

試験研究成果の区分

- 1 普及（普及に移しうる成果）
農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果。
- 2 指導（技術指導に参考となる成果）
普及員等指導者の技術指導上の参考として適当と認められる成果。
- 3 行政（行政施策等に反映すべき成果）
行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの。
- 4 研究（技術開発に有効な成果）
新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの。

【普及（普及に移しうる成果）】

部門	No.	成果名	提案研究室
農 産 部 門	1	品種 早生水稲 良質良食味と耐冷性を兼ね備えた「岩南16号」	やませ利用 水田作 銘柄米開発
	2	酒造好適米品種「吟ぎんが」の栄養診断基準の策定	銘柄米開発 水田作
	3	酒造好適米品種「ぎんおとめ」の生育・栄養診断基準と栽培法	営農技術 やませ利用 水田作
	4	平成13年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤	水田作 銘柄米開発
園 芸 畑 作 部 門	5	品種 小麦 製めん適性に優れる「東北206号」	野菜畑作 やませ利用
	6	平成13年度雑草防除基準に採用した果樹除草剤	果樹
	7	りんご「きおう」の表面色カラーチャートによる収穫適期判断（追補）	果樹
	8	りんごの新しい性台木「JM1」、「JM7」の耐水性	果樹
	9	ぶどう「安芸クイーン」及び「ノースレッド」の花振るい防止法 - メピコートクロリド液剤による花振るい防止 -	果樹
	10	複合交信攪乱剤を利用したりんご主要害虫防除	病害虫
	11	りんご早生品種「きおう」の高鮮度短期貯蔵技術	保鮮流通技術
	12	品種 きゅうり 耐病性・多収型の「夏ばやし」	野菜畑作
	13	良食味えだまめ品種「滝系C8」の長期継続出荷技術	野菜畑作
	14	ハウス栽培なばなのコナガ防除における性フェロモン剤の使用回数削減（追補）	環境保全
	15	ストロピルリン系殺菌剤耐性きゅうりべと病菌の発生と対策	病害虫
	16	生物農薬「非病原性エルビニア・カロトポーラ」製剤の特性と使用上の留意点	病害虫

部門	No.	成 果 名	提案研究室
園芸畑作部門	17	キャベツ根こぶ病に対するおとり作物としてのエンバク（ハイオーツ）の効果と利用法	営農技術
	18	品種 だいこん 6月播種に適した高品質な「貴宮」	産地育成
	19	ジベレリン利用によるりんどうの株養成期間短縮技術	花き
	20	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM1」（黄色 スプレー咲き）	花き
	21	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM3」（白色 スプレー咲き）	花き
	22	品種 夏秋ぎく系小ぎく「CM7」（桃色 スプレー咲き）	花き
	23	品種 秋ぎく系小ぎく「CM8」（黄色 スプレー咲き）	花き
畜産部門	24	産肉性と強健性に優れた新ランドレース種系統豚の造成	家畜育種
	25	乳牛の分娩前における飼料の段階的増量給与による周産期予防	家畜飼養
	26	品種 飼料用とうもろこし中生品種「35G86（パイオニア108日）」	飼料生産
	27	簡易牧草追播機利用による簡易草地更新法	飼料生産
	28	ソルガムのロールラップ作業体系による収穫調整技術	飼料生産
総合	29	平成13年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤・殺菌剤	病害虫

【指導（技術指導に参考となる成果）】

分野		成 果 名	提案研究室
農産部門	1	水稲育苗において出芽抑制を引き起こす浸種条件	水田作
	2	平成12年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	水田作 銘柄米開発 土壌作物栄養 病害虫 やませ利用
	3	水稲主要品種の玄米白度に関与する要因	水田作 銘柄米開発 やませ利用
	4	水稲除草剤データベース	水田作
	5	イネいもち病の無防除栽培が可能となる立地条件と施肥基準	環境保全
	6	葉いもち予防剤の育苗箱施用による河川への薬剤成分流出の低減化	環境保全
	7	イネいもち病防除を対象とした育苗箱施用剤の持続効果	病害虫
	8	家畜ふん堆肥の秋施用効果	営農技術
	9	水稲における岩手町大規模養豚団地産発酵豚ぶんの利用法	営農技術
園芸畑作部門	10	りんご「きたろう」の果実特性	果樹
	11	ぶどう「安芸クイーン」の栽培法 - 適性樹相と着果量 -	果樹
	12	ぶどう「紅伊豆」の垣根仕立てにおける台木利用法	果樹
	13	りんご各種殺菌剤に対するポリオキシエチレン脂肪酸エステル系展着剤の添加効果	病害虫
	14	TPI法によるトマト、ピーマン等の青枯病の診断	応用生物工学
	15	だいこん収穫機の作業特性及び導入基準	生産工学 営農技術 農業経営
	16	生食用中玉トマトの品種特性	野菜畑作
	17	プレハブ冷蔵庫利用による種用さといもの安定貯蔵技術	野菜畑作
	18	雨よけトマトの低段密植による不耕起連続栽培法	南部園芸
	19	チェーンポット苗移植栽培と非病原性フザリウム菌の組み合わせによるハウレンソウ萎凋病防除技術	環境保全 病害虫
	20	ピーマン黄化えそ病の発生特徴と伝染源	病害虫
	21	漬物用芭蕉菜の辛み成分含量の変動	保鮮流通技術
	22	キャベツ及びスイートコーンにおける岩手町大規模養豚団地産発酵豚ぶんの利用法	営農技術

分野		成 果 名	提案研究室	
園 芸 畑 作 部 門	23	ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果	営農技術	
	24	だいこんのマルチ同時播種機の作業特性	営農技術 生産工学	
	25	支柱栽培による調理用トマトの作業軽労化技術	産地育成	
	26	スターチス・シヌアータに発生するウィルス病	応用生物学 花き	
	27	オリエンタル系ゆりプレルーティング処理球の二度切り栽培特性	花き	
	28	トルコギキョウの春出し作型における播種期	花き 南部園芸	
	29	光反射マルチによるトルコギキョウえそモザイク病の抑制効果	花き 応用生物学 病害虫	
	30	採花年早生りんどうに対する石灰質資材施用効果	土壌作物栄養	
	31	キク矮化病の発生実態と対策	病害虫	
	32	ガーデニング用素材としての中輪系シクラメンの栽培法	産地育成	
	33	座繰り系・つむぎ糸による製品製作	蚕桑技術	
	34	交雑三眠蚕を利用した細織度繭糸素材の生産技術	蚕桑技術	
	35	採卵用天蚕に見られる天蚕微粒子病原検出数の最近の推移	蚕桑技術	
	36	切繭調査による繭品質の推定	蚕桑技術	
	畜 産 部 門	37	酪農経営への搾乳ロボットの導入条件	農業経営
		38	日本短角種産能力検定（直接法）成績	家畜育種
39		日本短角種産能力検定（間接法）成績	家畜育種	
40		シバムギの飼料価値	飼料生産 家畜飼養	
41		黒毛和種親子放牧における子牛の発育向上対策	外山畜産	
42		褐毛和種放牧子牛の発育特性と別飼方法	外山畜産	
43		県有種雄牛の産子枝肉成績及び育種価推定	種山畜産	
総合	44	平成 12 年度県内家畜ふんたい肥の成分特性	土壌作物栄養	

【行政（行政施策等に反映すべき成果）】

分野		成 果 名	提案研究室
農 産 部 門	1	圃場整備地区における水路・法面などの維持管理の状況と課題	農業経営
	2	平成 13 年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統候補	水田作 銘柄米開発 やませ利用
	3	平成 12 年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査結果	水田作 銘柄米開発 やませ利用
	4	平成 13 年度水稲新配布系統(候補系統)	水稲育種
	5	平成 13 年度水稲新配布系統(候補系統)	銘柄米開発
	6	水稲玄米の貯蔵条件と食味の経時変化	水稲育種
	7	「かけはし」のブレンド適性	水稲育種
	8	水稲ロングマット水耕育苗法	生産工学 水田作 土壌作物栄養 病害虫 農業経営
	9	自然圧パイプラインシステムの実用性	生産工学
	10	ほ場均平度自動測定システムの開発・改良	生産工学

分野		成 果 名	提案研究室
園芸畑作	11	加工用もも「もちづき」の果実特性	果樹
	12	推進野菜品目の需要動向	農業経営
	13	えだまめ採種における安定生産技術	野菜畑作 やませ利用
	14	平成 12 年度繭品質評価成績	蚕桑技術
畜産	15	黒毛和種産肉能力検定(間接法)成績	種山畜産
	16	円形堆肥化装置の牛ふん尿堆肥化特性と導入条件	農業経営 土壌作物栄養 飼料生産
総合	17	グリーン・ツーリズム情報検索システム	農業経営
	18	青年農業者の就農要因及び支援方策	農業経営
	19	ふるさと食品の品質 (1)県産果実飲料	保鮮流通技術

【研究(技術開発に有効な成果)】

分野		成 果 名	提案研究室	
農産部門	1	圃場整備事業地区にみられる組織営農の評価と課題	農業経営	
	2	岩南 23 号、岩南 25 号の穂もち耐病性	銘柄米開発	
	3	低アミロース系統の混米による食味特性の変化	銘柄米開発	
園芸畑作部門	4	春化处理した秋播き性小麦の生育反応	野菜畑作	
	5	県南部における平成 1 2 年産大豆の子実小粒化要因	野菜畑作	
	6	りんご「きおう」の再分化系	応用生物工学	
	7	J M 7 台木に発生したリンゴ根頭がんしゅ病の病徴と診断法	病害虫	
	8	ピーマンにおける肥効調節型肥料を利用した減肥技術	土壌作物栄養	
	9	初期溶出抑制肥効調節型肥料を利用したピーマンの局所施肥技術	土壌作物栄養	
	10	レタス無農薬栽培における病害虫の発生(6~7月穫り)	営農技術 環境保全 病害虫	
	11	花き小売店におけるスプレーぎくの選好度	農業経営	
	12	アレンジメントフラワー利用の花の用途と形態	農業経営	
	13	花き専作経営の取り組み品目と類型別経営実態	農業経営	
	14	りんどう採種用親系統の培養による維持法	応用生物工学	
	15	りんどう採種用親系統の葉片培養による増殖法	応用生物工学	
	16	りんどうこぶ症の発生特徴	病害虫	
	17	秋だしバンジーの品種組み合わせによる作期拡大の可能性	産地育成	
	18	極細繊維度三眠蚕「OK39」の性状	蚕桑技術	
	19	三眠蚕品種と四眠蚕品種「日202号」の交雑種・色繭の色素退色防止法	蚕桑技術	
	20	ポリ袋を利用した簡易な1~3齢無菌飼育法	蚕桑技術	
	21	デワノトネリコの挿し木による増殖法	蚕桑技術	
	畜産部門	22	「岩手地鶏」を活用した高品質鶏肉生産のための基礎鶏の作出	家畜育種
		23	日本短角種牛肉の新たな脂肪交雑評価法	家畜育種
		24	経膈採卵した未成熟卵子の輸送方法	家畜工学
25		ウシ核移植再構築胚における体外培養系の比較	家畜工学	
総合	26	直売所におけるレジスターPOSデータの販売管理への活用方法	農業経営	
	27	農作業に適した作業負担評価方法の開発	生産工学	
	28	平成 12 年度県内家畜ふんたい肥の外観評価	土壌作物栄養	

2 フォローアップ

<平成9年度研究成果>

回答数	県庁・出先機関	127
(延べ数)	農業改良普及センター	286
	農業団体	23

(単位：%)

No	研 究 成 果 名	この成果を知っているか			活用したいか	
		知って いる	他の成果 として	初めて 知った	は い	いいえ
【 指 導 (技 術 指 導 に 参 考 と なる 成 果) 】						
1	平成9年における水稻生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	89	6	6	89	11
2	指導資料「いわて純情米品質・食味向上の手引き」	94	0	6	94	6
3	平成9年藤沢町で発生した水稻黄化萎縮病の被害解析	80	0	20	70	30
4	新しい水稻育苗培土の実用性	88	0	13	100	0
5	表層砕土同時田植機の特徴と利用法	74	21	5	79	21
6	野菜栽培管理ピークルの作業特性	79	11	11	68	32
7	りんどう施肥管理機の開発	100	0	0	47	53
8	汎用コンバインの改良とそれを用いたアマランサス収穫法	80	0	20	60	40
9	揺動型比重選別機の改良とそれを用いたアマランサス調製法	80	0	20	80	20
10	水稻オリジナル品種「かけはし」の発育指数(DVI)パラメータの変更	83	0	17	100	0
11	訪花昆虫に影響の少ない蟻酸カルシウムの開花期散布がりんごの結実に及ぼす影響	100	0	0	92	8
12	低温によるりんごの果梗障害が果実の生育に及ぼす影響	100	0	0	93	7
13	わい化りんご園の樹冠下管理に対応した果樹園用中耕除草機の作業特性	93	0	7	86	14
14	醸造用二条大麦の春まき栽培技術	100	0	0	75	25
15	りんどうの有効積算温度による開花予測	100	0	0	75	25
16	りんどう「ポラーノホワイト」の生育不良株の発生防止対策	100	0	0	100	0
17	反射資材の利用によるストックの品質向上技術 (1) 反射フィルムのマルチ利用	78	11	11	88	13
18	簡易調製飼料による蚕の人工飼料育期間の拡大	100	0	0	100	0
19	岩手県における桑の新品種の栽培特性	86	14	0	86	14
20	平成9年春蚕期に異常発生したカイコノウジバエによる蚕繭被害事例	100	0	0	100	0
21	水稻直播栽培を試験的に導入している農家の経営的評価	100	0	0	100	0
22	大区画圃場整備地区における集落営農の促進方策と組織化の効果	75	25	0	100	0
23	りんどうの需要動向分析	100	0	0	100	0
24	きゅうりの無農薬・無化学肥料栽培の収量性	75	0	25	100	0
25	初期溶出抑制肥効調節型肥料による水稻育苗箱全量施肥技術の特徴	91	9	0	45	55
26	りんご樹に対する有機物施用と果実品質	91	0	9	82	18

No	研 究 成 果 名	この成果を知っているか			活用したいか	
		知って いる	他の成果 として	初めて 知った	は い	いいえ
27	県中南部りんどう畑の土壌環境実態	100	0	0	100	0
28	りんどう病害虫の発生予察調査基準	100	0	0	100	0
29	りんご斑点落葉病対象の防除回数削減技術	89	0	11	76	24
30	ほうれんそう土壌病害発生圃場におけるカニ殻発酵資材の使用方法和施用効果	89	11	0	89	11
31	りんご早生品種「さんさ」の鮮度保持 - 冷熱輻射方式貯蔵庫及びM A 包装段ボール箱等の効果 -	100	0	0	47	53
32	りんご「王林」に対する初期溶出抑制肥効調節型肥料の施用効果	89	0	11	63	37
33	黒毛和種放牧子牛のその後の産肉性	100	0	0	80	20
34	日本短角種の遺伝的産肉能力の推移	100	0	0	89	11
35	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	100	0	0	78	22
36	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績	100	0	0	89	11
37	受卵牛の選定および受胎に及ぼす各種要因	63	13	25	100	0
38	リードカナリーグラスの栽培と利用	75	0	25	81	19
【 行政（行政施策等に反映すべき成果）】						
101	比重選別機による水稻種子の精選精度向上技術	100	0	0	100	0
102	水稻原種・原々種生産	100	0	0	100	0
103	3 ha 区画ほ場での高性能農業機械及び省力技術体系の実証	87	7	7	79	21
104	水稻奨励品種の年次別データ比較	100	0	0	100	0
105	農業者の情報需要と農業情報ネットワーク整備のポイント	50	0	50	100	0
106	ホップのフキノメイガに対するピフェントリン水和剤の効果と残留性	100	0	0	100	0
107	土壌汚染防止対策によるカドミウム濃度の低下実態	100	0	0	100	0
108	黒毛和種産肉能力検定(間接法)成績	100	0	0	100	0

小数点以下ラウンドのため、合計が100%にならない場合がある。

3 東北農業試験研究成果

< 研究成果情報 >

- ア 良質良食味と耐冷性を兼ね備えた早生水稲新品種候補「岩南 16 号」の育成(銘柄米開発研究室、やませ利用研究室、水田作研究室)
- イ 酒造好適米品種「ぎんおとめ」の生育・栄養診断基準と栽培法(営農技術研究室、やませ利用研究室、水田作研究室)
- ウ 酒造好適米品種「吟ぎんが」の栄養診断基準の策定(銘柄米開発研究室、水田作研究室)
- エ 水稲の玄米白度に関する要因(水田作研究室、銘柄米開発研究室、やませ利用研究室)
- オ 寒冷地水田への家畜ふんたい肥の秋施用が水稲生育及び暗きょ水に及ぼす影響(営農技術研究室)
- カ 採花年早生りんどうに対する石灰質資材施用効果(土壌作物栄養研究室)
- キ イネいもち病無防除栽培が可能となる立地条件と施肥水準(環境保全研究室)
- ク 育苗箱施用剤使用圃場における葉いもち追加防除の判断(病害虫研究室)
- ケ 葉いもち予防剤の育苗箱施用による河川への薬剤成分流出の低減化(環境保全研究室)
- コ モモシンクイガ発生密度に応じたリンゴ園の複合交信攪乱剤利用体系(病害虫研究室)
- サ ストロビルリン系殺菌剤耐性のキュウリバと病菌の発生とその防除対策(病害虫研究室)
- シ アブラナ科野菜根こぶ病に対するおとり作物としてのエンバク(ハイオーツ)の効果(営農技術研究室)
- ス ダイコン収穫機の作業特性及び導入基準(生産工学研究室、営農技術研究室、農業経営研究室)
- セ 寒冷地における水稲ロングマット水耕育苗法(生産工学研究室、水田作研究室、土壌作物栄養研究室、病害虫研究室、農業経営研究室)
- ソ ダイコンのマルチ同時播種機の傾斜地作業特性(営農技術研究室、生産工学研究室)
- タ ほうれんそう調製機の作業特性と省力効果(営農技術研究室)
- チ 搾乳ロボット導入のための乳量水準(農業経営研究室)
- ツ 乳牛の分娩前における飼料の段階的増量給与による周産期病予防(家畜飼養研究室)
- テ ソルガムのロールアップ作業体系による収穫調製技術(飼料生産研究室)
- ト 簡易牧草追播機利用による簡易草地更新法(飼料生産研究室)
- ナ リンゴの新しい性台木「JM1」、「JM7」の耐水性(果樹研究室)
- ニ リンゴ早生品種「きおう」の高鮮度短期貯蔵技術(保鮮流通技術研究室)
- ヌ 雨よけトマトの低段密植による不耕起連続栽培法(南部園芸研究室)
- ネ 支柱栽培による調理用トマトの作業軽労化技術(産地育成研究室)
- ノ ジベレリン利用によるりんどうの株養成期間短縮技術(花き研究室)
- ハ スプレータイプの小ぎく品種「CM」系の育成とその特性(花き研究室)
- ヒ ガーデニング素材としての中輪系シクラメンの栽培法(産地育成研究室)
- フ 座繰り糸、つむぎ糸による製品製作(蚕桑技術研究室)
- ヘ 極細織度三眠蚕品種「OK39」の性状(蚕桑技術研究室)
- ホ 希少昆虫チョウセンアカシジミ植樹デワノトネリコの挿し木による増殖法(蚕桑技術研究室)
- マ エゾリンドウの葉片培養による増殖法(応用生物工学研究室)

アンダーラインは「東北地域新しい技術シリーズ」となったものである。